

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の 目指す姿	生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	道路課	施策主管 課長名	澤田 利徳
	施策No.	1	施策名	道路環境の充実	施策の 目指す姿	安全で便性の高い道路が 整備されています	関係課名			
	現状と課題 ・市民のニーズに沿った市道整備と国県道の整備要望を進めてきましたが、整備や維持補修の要望は現在も少なくない状況です。 ・除雪機械の老朽化や運転技術者の減少が進んでおり、除雪体制の維持が懸念されます。 ・市内にある橋長15m以上の橋梁209橋のうち、耐用年数50年を超過した橋は25橋有り、橋梁の老朽化が進行しています。									

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 道路の整備・維持管理 ○主要幹線道路・生活道路の整備 ・幹線道路0.7km、生活道路1.1kmを整備した。 ○舗装修繕等の道路環境の維持 ・舗装修繕9.0km、補修件数159件 ○交通安全環境の整備 ・歩道を0.2km整備した。 ○国県道の整備要望 ・国県道の整備を直接又は関係整備促進期成同盟会で要望した。 ○除雪体制の効率化 ・道路除雪1,833km、市域全体の除雪回数8回実施した。また、除雪委託費等を迅速に行うため計算システムを導入し、手計算していたものが、除雪の稼働時間に応じて委託費が自動計算されるようになり、事務処理の簡素化に繋がった。 (2) 橋梁の整備・維持管理 ・橋梁の維持補修事業により、朝日橋の修繕と猫塚南境橋の橋梁修繕設計を実施した。 ・橋梁整備事業により、豊沢橋の架け替え工事を実施中である。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
市道の改良率	道路整備の度合いを示す指標	出典：道路課 改良率=改良延長 /市道延長	%	目標値				56.0	56.2	56.4
				実績値	55.5	55.6	55.7	55.9	55.9	55.9
市道の舗装率	道路整備の度合いを示す指標	出典：道路課 舗装率=舗装延長 /市道延長	%	目標値				51.8	52.0	52.2
				実績値	51.1	51.4	51.5	51.7	52.0	52.1
歩道の整備延長	歩道整備の度合いを示す指標	出典：道路課 道路台帳	m	目標値				174,080	174,380	174,530
				実績値	167,593	172,039	173,970	177,086	178,611	178,848
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	・平成28年度実績 改良率・・・改良延長1,851,813m/市道実延長3,308,373m×100=55.9% 舗装率・・・舗装延長1,722,358m/市道実延長3,308,373m×100=52.1% (参考)H27年度実績 改良率:1,849,319m/3,306,730m×100=55.9%、舗装率:1,718,437m/3,306,730m×100=52.0% ■成果指標「市道の改良率」・・・【達成度 b】 事業が進行中であるため改良済とならない場合や、また、用地交渉中のケースがあり指標に反映されなかった。 ■成果指標「市道の舗装率」・・・【達成度 b】 事業が進行中であるため指標に反映されなかった。 ■成果指標「歩道の整備延長」・・・【達成度 a】 歩道整備財源である防災安全交付金が、比較的安定していることに伴い、所要の事業費を確保できた。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	生活道路維持事業	道路課	A	A
	生活道路の安全・安心を確保するため、修繕や補修、除排雪の維持管理を行う。 (舗装修繕 9.0km、補修件数 159件、市域全体の除雪回数 8回)			
2	生活道路整備事業	道路課	A	B
	安全で快適な道路網を構築するため、市道の新設・拡幅改良及び現道舗装、側溝整備を行う。 (道路改良 1.8km、現道舗装 2.9km、側溝整備 1.0km)			
3	橋梁維持事業	道路課	A	A
	予防保全型維持補修により橋梁の長寿命化を図り、通行の安全を確保する。 (朝日橋の修繕と猫塚南境橋の橋梁修繕設計を実施)			
4	橋梁整備事業	道路課	A	B
	安全で快適な道路網を構築するため、市道橋梁の架け替えを行う。 (豊沢橋の架け替えを実施)			
5	交通安全環境整備事業	道路課	A	A
	歩行者の安全・安心を確保するため、歩道の設置やバリアフリー化等の整備を行う。 (歩道設置 0.2km、防雪柵 1箇所)			
6	道の駅整備事業	道路課	A	-
	道の駅を核とした地域の連携強化を図るため、設置に向けた検討をし、整備を行う。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
なし

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・立地適正化計画に基づく公共交通によるネットワークの実現に向け、城内大通り一丁目線の整備を進める。
- ・歩道のない橋梁について、橋梁拡幅による歩道の設置が可能であるか検討する。

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・ストック総点検(橋梁、舗装、道路付属物、法面・土構造物)に伴う点検経費、点検に伴う修繕経費が増高し、道路法に基づく5年に1回の定期点検(橋梁、トンネル)の点検経費や修繕経費も加わるため、将来を見据えた計画的に効率の良い修繕と財源の確保が必要である。
- ・国道4号線山の神・村崎野間はボトルネックとなっており、慢性的な渋滞がおきており、救急搬送や通院、工業・流通団地への通勤や流通に支障をきたしているため、花巻東バイパスを含め4車線化にする必要がある。

(今後の方向性)

- ・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。
- ・国道4号線花巻東バイパス、山の神・村崎野間の4車線化を推進する団体である、「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」から国に強く働き掛ける。(花巻市、北上市、金ヶ崎町、奥州市及び民間企業・団体が組織、H29.5.17総会、H29.7~8要望活動)